

令和04年12月07日

葉山町議会 待寺真司議長 殿

CC: 山梨崇仁町長 殿

陳情 生ごみ資源化施設建設の目的・目標を明確にすることを求める

陳情趣旨

町の重要施策の一つであるクリーンセンター再整備事業の一施設である「生ごみ資源化施設」のコンセプトがぼやっとしていて目的・目標が解りづらい。又、一部の町内会で“生ごみの分別収集”をしているがその目的も解らない。住民に解りやすく説明することを求める。

陳情理由にある、“生ごみの分別収集”実証実験地域へのチラシによると、生ごみ資源化施設のコンセプトは、「循環型社会の形成」のようだ。

又、目標は「焼却費 1 億円の削減」、「焼却に投じている税金の削減」のように見える。

コンセプトの循環型社会の形成と目標の経費削減が合致していない。

仮に目標が、「焼却費 1 億円の削減」、「焼却に投じている税金の削減」であるのなら、

- ・生ごみ分別収集費用増額（2021年決算実績；ごみ収集費 1.05 億円）
- ・単位当たりの現焼却費（2021年決算実績；4.1 万円／t）
- ・目標単位当たりの生ごみ資源化費（残渣の焼却も考慮して）
- ・目標トータルごみ処理費増減額

を示すべきではないか。

陳情理由

“生ごみの分別収集”実証実験地域へのチラシ。

◆2021年9月 上山口地区にお住いの皆様へ

葉山町では令和6年度に逗子市と共同で「生ごみ資源化施設」を建設し、生ごみの堆肥化処理を行い、製造された堆肥は、町民の皆様へ配布等により還元す

る循環型社会の形成を目指しています。

生ごみを分別収集し、堆肥化处理することにより、燃やすごみ量を減らして焼却による環境負荷の軽減や焼却経費の削減（約1億円/年）を目指します。

◆2022年5月 生ごみ分別収集実証実験に協力いただく皆様へ

葉山町では令和6年度に逗子市と共同で「生ごみ資源化施設」を建設し、生ごみの堆肥化处理を行い、製造された堆肥は、町民の皆様配布等により還元する循環型社会の形成を目指しています。

生ごみを分別収集し、堆肥化处理することで、燃やすごみ量を減少させ、焼却による環境負荷の軽減や焼却処理に投じている税金の削減を目指します。

思うに、クリーンセンター再整備事業の一施設である「生ごみ資源化施設」のコンセプトは「CO₂削減を目指した環境にやさしいごみ処理施策」のように考えられるが、そうであるなら経済的目標の他に、

- ・堆肥化によるCO₂削減量（焼却との比較（堆肥化もCO₂排出））
- ・単位当たりのCO₂削減費用

を示す必要がある。

余談だが、葉山町議会のクリーンセンター再整備事業の調査所管先は「教育民生常任委員会」ではなく、「全員協議会」のようだが、本件に関する協議会での議論は、上記数値目標を基本に行うと町民には解りやすい。

各議員の主観的意見のやり取りはなにの結論も得ないので避けるべきである。

